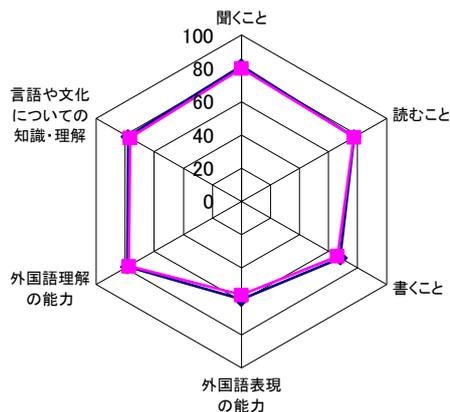


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【英語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	聞くこと	81.4	79.9	75.7
	読むこと	77.5	77.3	72.8
	書くこと	68.0	66.0	69.3
観点別	外国語表現の能力	58.8	56.1	58.8
	外国語理解の能力	78.5	77.6	72.3
	言語や文化についての知識・理解	78.0	76.6	76.3



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
 (英語では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
聞くこと	平均正答率は、宇都宮市の正答率より高いが、すべての設問で上回っているわけではない。 ○聞き取った英文の内容について、答えとなる絵や応答文を選んだり、資料をもとに英語で答えたりする問題に関しては正答率が高い。 ●対話を聞いた後に、適切に応答する問題においては、正答率が少し低かった。	・日頃から英文を聞き取る機会を更に増やし、対話形式の問題に慣れるとともに、対話の流れやポイントをメモできる力もつけていきたいと考える。
読むこと	平均正答率は、宇都宮市の正答率とほぼ同率である。 ○長文の内容を把握した上で代名詞の示す語句を理解するなど、内容をしっかり読み取ることができた生徒が大半だった。 ●thatの内容を把握する問題ができていない生徒が多かった。このことから文法事項がしっかり定着できていない生徒もいる。	・長文を読み、適語を入れたり代名詞の示す内容を答えるだけでなく、文法事項をしっかり理解した上で答える必要がある。そのためには、「読むこと」だけでなく、書くことにも力を注ぐことで、文法力の強化につながっていくと考えられる。
書くこと	平均正答率は、宇都宮市の正答率より上回っている。 ○自由英作文において、自分の考えや意見を3文以上の英文で答える問題は、約75%の生徒が書くことができた。 ●疑問詞+to 不定詞の文を正しい語順で書く問題では、正答率が50%以下で低かった。	・「書くこと」という分野において、なかなか点数に結びつかない生徒たちの共通点としていえるのが、「曖昧な覚え方しかしていない」という点が挙げられる。適切な英単語を答える問題でそれほど正答率が高くないところを見ても分かるように、語彙力の低さが伺える。単語はしっかり「読める」「書ける」「発音できる」を徹底していく必要があると考えられる。